

令和7年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

郷原中学校区 校番6 学校名 郷原小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	○キュビナの活用が基礎学力の向上に効果を上げていること、子ども達も実感しながら励んでいるのでしよう。「できた」とき、「できたね」の声かけはどんなでしようか。 ○的確でバランスの良い目標、指標であると感じる。
目標達成のための方策の適切さ	A	○具体的であり、良いと感じる。 ●表現力の向上を「振り返りの表現」でみとめることは難しいと感じました。表現したい、表現すべき対象(具体抽象に関わらず)があつてこそ、表現力向上への意欲が高まるのではないかと。伸ばしたい表現力について再考を促したい。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	○数値で達成の低い項目もあるが、次への具体的な課題や新たな取り組みも発見できたことは、良い方向性だと感じる。 ●「質の高まった振り返り」が書けなかったこと、それがその授業の評価になっているのではないでしようか。授業の中で、子ども達の感性に響くものが不足していたと考えて授業改善を図ることが重要だと考えます。
今後の改善策(案)の適切さ	A	○大筋の策ではなく、指導者の共通認識をより具体的にしていこうとする挑戦の気持ちが伝わってきた。 ○地道にこつこつ取り組みたい。
その他		○今年度は、新しい取り組みを感じる行事等も拝見しながら、日頃より子ども達と向き合い結果を喜び合うお姿を安心して見守る地域の者として、感謝の日々でございます。 ○先生方が「チーム郷原」として子ども達のために努力精進されていることを有難く思っております。 ○目標・指標を設定し、目標達成の方策を立て、それに対しての評価・結果・分析さらに今後の改善策等、先生方の多大な御努力、御苦労があつたことと思います。また、教職員の時間外勤務と仕事量の絡みで大変なことは思いますが、「郷原っ子」のために引き続きよろしくお願ひします。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校評価」の目標や方策等、定期的に確認し、全教職員のベクトルの向きをそろえ、日々の教育実践を行う。 ・基礎学力の定着、表現力の向上を目指し、子ども達の「わかった」「できた」「学びたい」といった学習意欲を喚起しながら、振り返りの質を高めていく。 ・振り返りの内容や「かえるくん」(振り返りの視点)の使い方について、実践交流し、授業の質を高めていく。 ・日常的に児童の所作や言動を価値付けたり、郷原のよさや魅力に気付かせたりすることを継続しながら、児童主体の縦割り班活動や異学年交流をマネジメントし、豊かな心を醸成していく。 ・「健やかな体」の育成については、「体力づくり推進計画」や「学校安全計画」を確実に実施し、「体力の向上」や「自分の命は自分で守る」児童を育ていく。 ・学校づくりにおいて、教職員のボトムアップを生かす雰囲気づくりを進め、教職員の働きやすさや働きがいを高めていく。
--------------------	--